

## 第7回懇談会の主な意見等

## 【プールについて】

1. プールを整備するという教育委員会の方針は理解できるが、プールをすることで費用が1～2億円掛かるという重みを認識してほしい。
2. 温水プールなら良いが、夏しか使えないプールを作るのは無駄だと思う。もう少し深い議論が必要なのではないか。
3. 専門のインストラクターが非常に効率よく水泳の授業をやっているのを見て、民間を活用しても良いと考えるようになった。
4. 数名の生徒に聞いたところ、学校にプールがあった方がよいとの意見だった。
5. プールを作る場合、熱中症予防の日除けの問題や工事期間が4か月長くなるというところでの生徒への負担、校庭面積の確保などについて、工夫してほしい。
6. 学校のプールを水泳以外の用途で利用できるようにできないか検討してほしい。
7. 神明の地域の学校力、教育力を高めていくためにプールが必要かという論点のほうが重要なのではないか。
8. プール整備とは別に、水泳の授業を充実させるためにどういうことができるのかということは引き続いて考えていかななくてはいけない。そういう中で民間施設や学校以外の力の活用ということも考えていく必要があるのではないか。

## 【平面図について】

1. 物資の搬入・搬出というのは防災倉庫に限らず、学校の関係者の中でも行事等はアリーナで行うため、よりスムーズに行えるよう考える必要がある。
2. 体育館が半地下になるので、湿度や温度といった管理が大きな課題になってくる。空調の性能や使い方等もこれから検討してほしい。
3. 相談室以外にも個別に対応できる部屋が幾つかあればよりよい場所になる。
4. 校長室と職員室が隣になった点が良い。
5. 廊下部分を職員室に取り込むことによって、先生方が優れた良い環境の中で仕事ができることを目指したこのプランはとても良い。
6. 体育館が半地下になるが、2方向に逃げられる点が良い。
7. 神社へ視界が開けるエントランスホールは、新しい神明中学のみんなが誇れる、みんなが愛着を持てるシンボリックな空間になる。